

【R7.1.8】令和6年度3学期始業式（校長講話）

- 13日間の冬休みが終わりました。そして今日から3学期の始まりです。みなさんはどのような冬休みを過ごしていましたか？私は、受験を控えた3年生のことを少し気にしながら、年末はスキー、年始は大阪で本場のたこ焼き・お好み焼きを食べ、そしてさらにお笑いのライブなんかを楽しんできました。
- 今日は、すでにお知らせしているように令和7年度からの学校名が「たがの杜小中学校」に決定したこともありますので、再び四中の歴史に関するお話です。以前に学校だよりでも触れた『創立50周年記念誌』に掲載されている平成9年に行われた座談会の内容を取り上げます。この座談会のテーマは「創立の頃から昭和52年頃の四中」となっていて、その頃に四中にいらっしゃった校長先生、教頭先生、他4名の先生がその座談会に参加されています。
- この座談会の最後、「これからの四中へ」のメッセージとして
「四中の良さを何かの機会に教えていくのはいいことです。生徒にそういう学校なのかと意識させるには、こんな伝統がある、こんな人も出ていると話してやることは、四中生の一人としての自覚や誇りを持たせることにつながります。ぜひ、知らせる機会を生徒に与えてほしい。」とありました。確かにそうだなと思いますので、ここでお話しされた昔の四中の思い出話の一部をエピソード形式の抜粋で紹介します。
- 「1期生のピッチャーだった松村君は、その後プロ野球の毎日オリオンズに入ったと覚えています。花村君も東大の野球部で投げていたと聞いています…1期生は逆境にも負けずに、教材や教具もないような不自由な生活に耐え明るく逞しく、自分たちの学校を作り上げたようでした。」ちなみに毎日オリオンズは、現在の千葉ロッテマリーンズです。1期生にプロ野球選手がいたのですね。
- 「10期生の卒業生が507名で、現在の1校より多い10クラスあったことです。修学旅行ではバスを11台連ねたことが印象として残っています。」現在の四中なら2校分ですね。
- 「市内で最初にブラスバンドができたので、よく駆り出されてパレードに出ていました。中央線に新しい急行列車が走るということで、八王子駅の発車式の時にホームで演奏したこともありました。」なんと、吹奏楽部は市内でもっとも古い歴史をもっていたのですね。
- 「全校の歓迎遠足は、一期生から三期生までが揃った昭和24年に、津久井の久保沢の貯水池に行ったのが最初です。昔の生徒はよく歩いたものですね。それ以来、毎年4月末になると新入生歓迎の全校遠足をやっていました。」しかし、その後、大勢で道路を歩くのは交通の妨げということで中止になったそうです。ちなみに、四中から津久井湖の手前の浄水場あたりまでで、なんと約10kmあります。10kmということは、片道だけで3時間くらいかかります…
- こんなふうに調べてみると、オドロキエピソード、オモシロエピソードがまだまだたくさんあるようです。続きはいつかの機会にします。四中の伝統や歴史に触れて、初めて知ったという話や新しい気づきがあったでしょうか？この学校の新しい歴史や伝統は、私たちがつくっていきましょう。